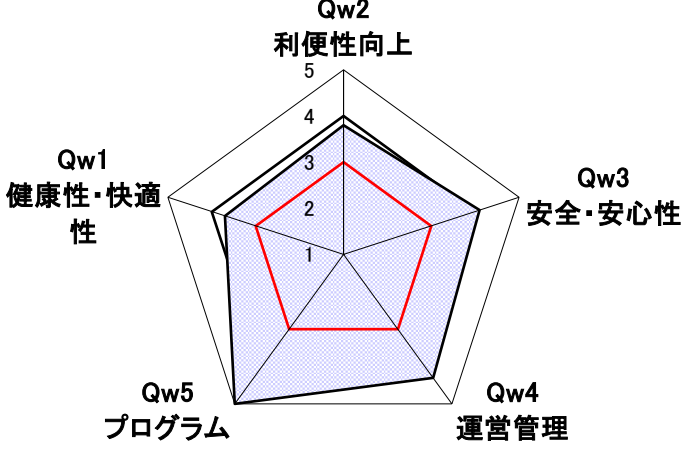


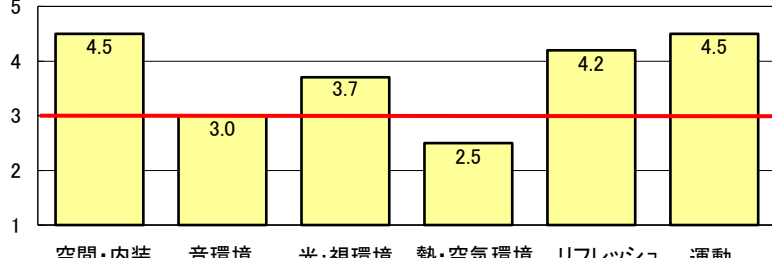
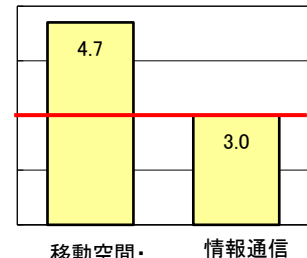
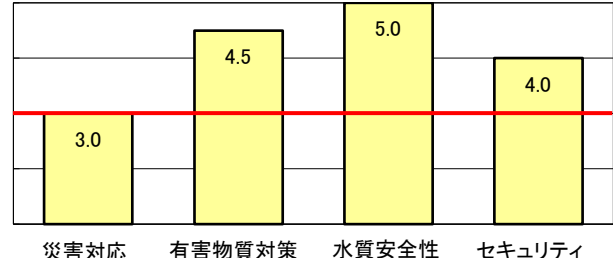
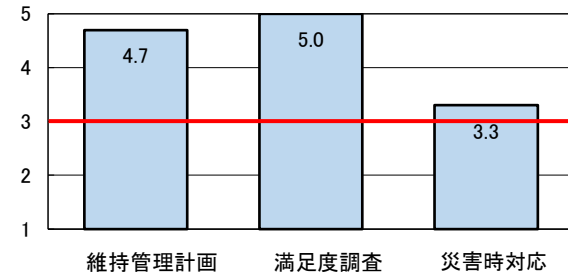
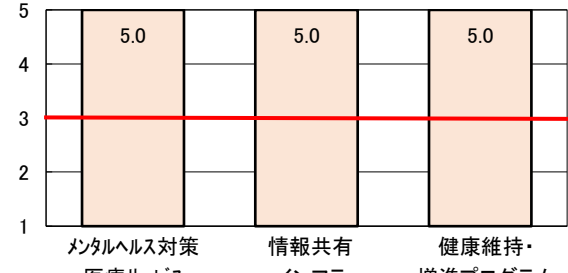
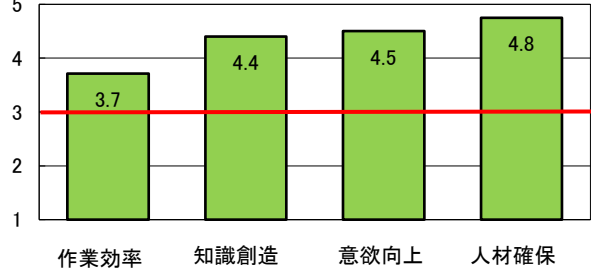
CASBEE®-ウェルネスオフィス

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-WO_2021(v1.1)

1-1 建物概要			1-2 評価パターン	
建物名称	日東シンコー株式会社 技術センターTECNC	階数	地上6F	評価対象 パターン 3
建設地	福井県坂井市	構造	S造	
用途地域	指定なし、防火指定なし	平均居住人員	120 人	1-3 外観
地域区分	5地域	年間使用時間	1,861 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所	評価の段階	設計段階(実施設計・施工)評価	
竣工年	2025年8月 予定	評価の実施日	2025年6月16日	
敷地面積	1,300 m ²	作成者	清水建設㈱北陸支店一級建築士事務所	
建築面積	908 m ²	確認日	2025年6月16日	
延床面積	5,118 m ²	確認者	清水建設㈱北陸支店一級建築士事務所	

2-1 総合評価	2-2 大項目の評価(レーダーチャート)
Rank: S 75.4 /100  S ランク:★★★★★ > 75 A ランク:★★★★☆ ≥ 65 B+ランク:★★★★ ≥ 50 B-ランク:★★★ ≥ 40 C ランク:★★ < 40	

2-3 中項目の評価(バーチャート)			
基本性能			
Qw1 健康性・快適性 Score: 3.7		Qw2 利便性向上 Score= 3.8	
			
空間・内装 音環境 光・視環境 熱・空気環境 リフレッシュ 運動		移動空間・ 情報通信	
Qw3 安全・安心性 Score= 4.1			
			
災害対応 有害物質対策 水質安全性 セキュリティ			
運用管理		プログラム	
Qw4 運営管理 Score 4.3		Qw5 プログラム Score = 5.0	
			
維持管理計画 満足度調査 災害時対応		メンタルヘルス対策 医療サービス 情報共有 インフラ 健康維持・ 増進プログラム	
参考: 知的生産性の視点に基づいた評価			
			
作業効率 知識創造 意欲向上 人材確保			

3 設計上の配慮事項		
総合		
研究に支障が出ない必要最低限の開口部を視線が抜ける高さで設け、丸岡の自然豊かな眺望や時の流れを感じられる、閉鎖感の少ない研究環境を実現した。既存建屋と調和するデザインとし、BELS認証取得やエンゲージメント向上にも配慮した、快適で知的生産性の高い施設を目指した。		
Qw1 健康性・快適性 開放的なプラン・構造・設備仕様とし、照明器具のグレアを制御している器具を採用している。また、執務室の天井高を2.9mとし自然光を取り入れ、外構に植栽を施すなど、快適性に配慮している。	Qw2 利便性向上 家具や緑化と合わせて、コミュニケーションや集中してイノベーションに取り組める利便性の高い環境計画としている。	Qw3 安全・安心性 PRTR法の対象物質を含まない建材種別を採用するなど空気質環境に配慮している。セキュリティ面では、カードリーダーを採用し、安全・安心性に配慮している。
Qw4 運営管理 防汚性の高い仕上げ材を採用するなど、維持管理に配慮している。維持保全については予防保全・事後保全を実施し、実施体制を確立している。	Qw5 プログラム 健康セミナーやメンタル系セミナーを開催、地域イベントへの参加、イベント等によるワーカー相互の交流促進等、健康を維持する取り組みを計画している。	その他 -

CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版
日東シンコー株式会社 技術センターTECNOS

バージョン CASBEE-WO_2021(v1.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート			
配慮項目	環境配慮の概要記入欄		評価点
総合評価			4.0
Qw1 健康性・快適性			3.7
1 空間・内装			4.5
1.1 レイアウトの柔軟性	1.1.1 空間の形状・自由さ	開放的な執務空間がプラン可能	4.0
	1.1.2 荷重のゆとり		3.0
	1.1.3 設備機器の区画別運用の可変性	レイアウト変更に対応した区画に分けて運用が可能 等	5.0
1.2 知的生産性を高めるワークプレイス	知的生産性を高めるようなレイアウト設計、運用体制がある		5.0
1.3 内装計画	1.3.1 専有部の内装計画	内装コンセプト・機能が明確にあり、具体的に示されている 等	5.0
	1.3.2 共用部の内装計画	空間用途に応じた内装材を採用 等	5.0
1.4 作業環境	1.4.1 オフィス什器の機能性・選択性	作業環境に配慮した什器を選定、健康に配慮された什器を導入 等	5.0
	1.4.2 OA機器等の充実度	レイアウト変更に対応した区画に分けて運用が可能	5.0
1.5 広さ			3.0
1.6 外観デザイン	設備機器は屋上に配置、植栽により良好な景観を形成 等		5.0
2 音環境			3.0
2.1 室内騒音レベル			1.0
2.2 吸音	二面(床・天井)に吸音材を採用、サイレントスペースの設置 等		5.0
3 光・視環境			3.7
3.1 自然光の導入			3.0
3.2 グレア対策	3.2.1 開口部のグレア対策		3.0
	3.2.2 照明器具のグレア対策	透光性カバーのある照明器具を採用	5.0
3.3 照度	全般照明方式で机上面照度:500lx以上1000lx未満		4.0
4 熱・空気環境			2.5
4.1 空調方式及び個別制御性			2.0
4.2 室温制御	4.2.1 室温	設定室温は夏期25℃、冬期23℃とし、レベル3,5の中間的な取り組み	4.0
	4.2.2 外皮性能	5地域、BPI=0.80以下	5.0
4.3 湿度制御			2.0
4.4 換気性能	4.4.1 換気量		1.0
	4.4.2 自然換気性能		1.0
5 リフレッシュ			4.2
5.1 オフィスからの眺望	天井高2.9m以上		5.0
5.2 室内の植栽・自然とのつながり			3.0
5.3 室外(敷地内)の植栽・自然とのつながり	既存樹木を保存、緑化率20%以上 等		5.0
5.4 トイレの充足性・機能性	余裕を持った器具数を設置 等		4.0
5.5 給排水設備の設置自由度	流し台付きカウンターを設置 等		4.0
5.6 リフレッシュスペース	各階共用部に快適なリフレッシュスペースを計画		4.0
5.7 食事のための空間	快適な食事や軽食を取れるスペースを計画		4.0
5.8 分煙対応、禁煙対応	敷地内完全禁煙		5.0
6 運動			4.5
6.1 運動促進・支援機能	更衣室、ロッカー(運動を支援する装備)を計画		4.0
6.2 階段の位置・アクセス表示	階段にカロリーを記載、ラボエリア内を行き来ができる階段を計画 等		5.0
Qw2 利便性向上			3.8
1 移動空間・コミュニケーション			4.7
1.1 動線における出会いの場の創出	会話を誘発するような動線上の工夫 等		5.0
1.2 EV利用の快適性	安全・耐震基準への対応 等		5.0
1.3 バリアフリー法への対応	チェックリストの項目を満たしている		4.0
1.4 打ち合わせスペース	打ち合わせ内容に応じた空間の選択が可能		5.0
2 情報通信			3.0
2.1 高度情報通信インフラ			3.0

Qw3 安全・安心性			4.1
1 災害対応			3.0
1.1 耐震性	1.1.1 躯体の耐震性能		3.0
	1.1.2 免振・制振・制震性能		3.0
	1.1.3 設備の信頼性		3.0
1.2 災害時エネルギー供給			3.0
2 有害物質対策			4.5
2.1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の建築材料を採用	4.0
2.2 有害物質を含まない材料の使用		対象物質を含有しない建材種別を確認	5.0
2.3 有害物質の既存不適格対応	2.3.1 アスベスト、PCB対応		-
	2.3.3 土壌汚染等対応		-
3 水質安全性			5.0
3.1 水質安全性		水質劣化を防止する措置をしている 等	5.0
4 セキュリティ			4.0
4.1 セキュリティ設備		入退管理システム(カードリーダー)採用 等	4.0
Qw4 運営管理			4.3
1 維持管理計画			4.7
1.1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い仕上材を使用 等	5.0
1.2 維持管理用機能の確保		各階トイレに清掃用流しを設置 等	4.0
1.3 維持保全計画		維持保全計画があり、予防保全・事後保全の実施を計画	5.0
1.4 維持管理の状況	1.4.1 定期調査・検査報告書		-
	1.4.2 維持管理レベル		-
1.5 中長期保全計画の有無と実行性		中長期保全計画あり、実行する体制を確立	5.0
2 満足度調査			5.0
2.1 満足度調査の定期的実施等		満足度調査の実施、改善体制の確立	5.0
3 災害時対応			3.3
3.1 BCPの有無		BCP計画を作成、計画を実現する設備を整備、定期的な更新 等	4.0
3.2 消防訓練の実施		訓練への参加人数を増加させるための取組みがある	5.0
3.3 AEDの設置			1.0
Qw5 プログラム			5.0
1 メンタルヘルス対策、医療サービス		健康診断、ストレスチェック、独自のメンタルヘルス対策を実施	5.0
2 情報共有インフラ		ビル内の取り組みを周知する掲示板を設置 等	5.0
3 健康維持・増進プログラム		運動を促進するクラブ活動があり、補助も行っている 等	5.0